公表 事業所における自己評価結果

日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日							
	88	所名					
			チェック項目	はい	0002	工夫している点 +分なスペースがあり、原内・原外区数れたれ	課題や改善すべき点
		1	利用定員が発達支援登等のスペースとの関係で適切であるか。			らち余裕をもって行える。	
	İ	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	3			職員の暗員を検討する。
2 1		2	tr.	4	2		
		3	か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化			分かりやすい空間であり、荒天而天でも運動で	他年齢の方には何見支援か効果あると思われる のでイラストなどで示せれるようにする。
### 1997年	86		や情報伝達等、相視上の配準が適切になされているか。	4	2	座して活動できる部屋(学器室)、 リラックス	
Billion Company Comp		4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども漢の活動に合わせた問題となっているか。			機能をもった部屋がある。他に資産や台所もあ	
				6		7. 342. 4111.7	
1		5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。				
************************************			要要決策を進めるための 800km サイベッ/日曜の中上版 N近りU-	5	1		先ずは目標の確認と共有から行っていく。
# 24-2000-C-3-		6	広く職員が参画しているか。	4	2		
### 1997年		7	保護者向け評価表により、保護者等の最向等を把握する機会を設け ており、その内容を無視改画につなげているか。				
### 1997年の1997年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	業務			6		定期的にミーティングを開催している。 原見発	全員の根見がだける場にするために、前もって
************************************	改能	8	つなげているか、	5	1		を事前に関き取るようにする。
1		9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。			行えていない。	必要性を大いに感じているため法人に検討して もらう。事業所単位で決めるには難しい。
1	ł		製用の表現の向上を見るものと 正確を選択する他ののは i か至っ	2	4		社外研修が少ないので法人に社外研修への積極
1		10	研修を開催する機会が確保されているか。	6			
1		11	適切に支援プログラムが存成、公表されているか。			支援プログラム作成し、公表項。	
1	}		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者	6			
1		12	しているか。	6			
1		13	でなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最			児屋の回線、立場になって必要なことがないか 職員からも関く機会を設けている。	
1	}			5	1		
1		14	ているか。	5	1		
		15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな				統一した支援ができるよう標準化されたツール を返用する。
### 1997年			アセスメントを使用する等により確認しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達女	5	1		
### 17 19 2007097-000世界であった。19 1 1 1007097-000世界であった。19 19 2007097-000世界であった。19 19 2007097-000世界であった	13	16					
### 13	t _k		から、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具 体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
### 18 20070792の位置によっているから、	摄	17	活動プログラムの立窓をチームで行っているか。			行事やプログラムは職員だけでなく児童からも リクエストを聞いて決定している。	
19	奨			7		月間スケジュールで日輩わり、季節の活動を立	
1		18	薬動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	常し、前月までに利用者に配布し固定化しない ように工夫している。	
### (1995年) 1995年		19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適直組み合わせて児 屋保護支援計画を作成し、や用が行われているか。			きる活動を職員が工夫して提供している。社会	
2			支援開始的には隔費目で必ず打合せを行い、その日行われる支援の	6		集合しての打ち合わせは少ないがグループライ	集会にとらわれず、今後もあるツールの項用。
### 2015年10日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本		20	内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	4	2	共有、連携行っている。	5.
2 日本の意味を担いてお願えることも意思し、現在の間、の数で 1 日本の意味を担いています。		21				前項」と同様だが、退勤時間が全員一定ではないが、情報共有するグループラインを上手に活	自宅送り時に保護者から重要な連絡や相談もあ るので、伝達ミスが配こらないようにグループ
2	}			4	2		ラインで情報共称を今後も行う
1		22		6			
### (1997年 1998年 1997年 - 12月	İ	23					
				6			
2		24	申書だ相談支援事業所のサービス担当各会議で同体権同じの会議 に、そのこどもの状況をよく理解した客が参画しているか。	6			
### (1997年 1997年		25				対象がいないために行っていない。	
2	}			6		対象がいないために行っていない。	
####################################		26	観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども 国、幼稚園、特別支援学校(幼稚館)等との間で、支援内容等の情報				
2			共有と相互理解を図っているか。	3	3		
2		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
### 2000年	44			3	3		
# 2 2 2 20011上を図るも、日曜日に中下中の特殊をつからませいでした。 # 3 2 20011上を図るも、日曜日に中下中の特殊をつからませいでした。 # 3 2011 日本の主意を受ける。 # 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	100	28	市域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携				
日	R						
2 2 (12. 季報に必知的	81	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助賞を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
####################################		30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ隣領				
1						BITTUME.	糸満市の連絡会には参加しているので、何かヒ
1		31					ントをもらえるようにする。
3			心場の元重角地又接センターとの地方を辿り、必要に応じてスーパーバイズや動震等を受ける機会を設けているか。	3	3		
3		32	保育所や認定こども個、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど セレス教士と紹介があるか。			対象児童がいないため模様なし。	
### 200001111111111111111111111111111111			COLOR FOR MANUAL COLOR IN COLO		6	メール、連絡権、加、送径の様などを利用して	保護者会を今年度一回は開催したい。
3		33	課題について共通理解を持っているか。	6	L		<u> </u>
2 4 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		34	ラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機			東族参加の研修機会はない。	ペアトレの必要性は確切に感じているため、職 員からまずは研修行わせたい。
2 20 つかいもの。	H		会や情報提供等を行っているか。	2	4	契約の際に説明を行っているが支援プログラム	
3		35		6		は案内ができていない。	
1		36	重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家				
2			族の思的を確認する場合を設けているか。	6	_		
#### (37		6	L	<u> </u>	<u> </u>
### (1997年 1997年		38					
 第 36 (株理的での関する場合的は30年の時間としているのである。			父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ	6	-	対象児童がないが概念がなし	コロナ通後に一回だけしか保護者会ができてい
1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2	81	39	り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。ま				ないので、今年度は一度を目標に開催したい。
2 された。この中の高度に出版し、総合やサスルから、ためら	6		か。 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備す	1	5		
### 2001-0800-0801-091-081-081-081-081-081-081-081-081-081-08	RR	40	るとともに、こどもや保護者に開始し、相談や申入れがあった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
□ (利用にいるか)	7	41	り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対			通信を毎月発行している。	今後は紙媒体だけでなく電子媒体での発信を行 いたい。ホームページ以外に。
日本の主人とことで発展するの意気を指導性限に関われた事業を対している。			して発信しているか。	6			
1		42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時、離党中に必ず説明している。個人情報 の取り扱いについても定期的に研修している。	
4		43	障害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための勤集 をしているか。			<u></u>	
### 2017-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-				6			
2		44	聞っているか。	1	5		
○ 大規令者にご問題を開しているか。 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		45	染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するととも			各種マニュアルは作成資、それをもとに訓練も 定期開催しているが特に利用者には周虹が薄	周知してもらうために今年度は各種マニュアル をホームページに掲載する。
大変的に関係 和さらめらび回答するいとか。			に、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	CPの更新済、会年も避難訓練実施、今年度も	消防訓練も年二回行う。
		46	minometitim (DLP) を原定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
		47	事前に、脳裏や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し ているか。			受診、予防接種、服薬について家族からその態度情報を共有している。	
# 1				6			
### 10mm	m	48		5	1		<u> </u>
	95	49				ことで無器に安全について展現してもらってい	
50 このかが考慮を描して、影響を心感性的の行える。	対			6		安全教育、ヒヤリハット事例を共有されている	施設で実施している安全計画の内容を保護者に
5 アリハットを製剤内で発化。 解物点に対すたが高くついて 物料としている。 2 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	æ	50	ここでの女生物等に関して、家族等との連携が弱られるよう。 安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		が保護者への安全計画の共有は薄い。	説明、共有します。
の対しているか。 3 部分的上するため、無限の研修教育者等する等。前の対抗性 しているか。 があったのでは、またのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について Motes アンスト			グループラインで情報を共有しています。	
				6	-	法人、部署単位の研修で虐待防止、身体拘束表	
53 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 施針にはやむを得ず身体的変を行う場合につむ		52		6		ð.	
		53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 次定し、こどもや保護者に拒給に十分に設備1.7個を編た 1 m			指針にはやむを得ず身体拘束を行う場合につい	
			屋発達支援計画に記載しているか、	6	Ц		